

第2次札幌市火葬場・墓地に関する運営計画



令和8年(2026年)3月

札幌市

目次

はじめに

第1章 第2次運営計画の概要

1 計画策定の目的・趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の対象期間	2
4 基本構想と運営計画について	3

第2章 第1次計画の評価

1 市民の意識醸成	4
2 多死社会に対応した火葬場	5
3 少子高齢社会に対応した墓地	8

第3章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点

1 葬送に対する市民の意識	
(1) 葬送に対する意識	10
(2) 火葬場・墓地に関する問題と取組に対する理解	13
2 火葬場	
(1) 火葬件数の増加	13
(2) 里塚斎場の構造上の問題と経年化	15
(3) 山口斎場の大規模改修に関する問題	17
(4) 火葬場の広域利用	18
(5) 残骨灰等の取扱い	20
3 墓地と納骨堂	
(1) 墓地・納骨堂の供給状況とニーズの変化	
ア 札幌市内の墓地・納骨堂の供給状況	22
イ 民間墓地・納骨堂の供給・安定経営に向けた指導	24
ウ 市営合葬墓に対するニーズの高まり	25
エ 市営霊園の返還区画の増加	28
(2) 無縁化が疑われる墓の増加	29
(3) 市営霊園の経年化	31
(4) 旧設墓地の維持管理	32

第4章 分野別の取組

1 市民の意識醸成	
(1) ビジョン実現に向けた施策などの全体像	34
(2) 各種取組	
ア 葬送に対する市民ニーズの把握	36
イ 葬送に関する情報発信・提供	36
(3) 成果指標の設定及び参考指標	38
2 多死社会に対応した火葬場	
(1) ビジョン実現に向けた施策などの全体像	40
(2) 各種取組	
ア 里塚斎場の建替・改修手法	42
イ 山口斎場の大規模改修手法	44
ウ 火葬場の広域利用についての協議	45
エ 残骨灰等の無害化处理	46
(3) 成果指標の設定及び参考指標	47
3 少子高齢社会に対応した墓地	
(1) ビジョン実現に向けた施策などの全体像	48
(2) 各種取組	
ア 市民ニーズに対応した墓地等供給の推進	50
イ 民間墓地・納骨堂に対する指導等	51
ウ 新たな市営合葬墓の設置等	52
エ 市営霊園墓地供給(再公募等)のあり方	53
オ 市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応	54
カ 市営霊園の運営・改修・機能の統廃合	56
キ 旧設墓地の管理方法	59
(3) 成果指標及び参考指標	60

第5章 運営計画の進行管理等について

1 推進体制	61
2 進行管理と協議会の関わり方	62
3 SDGsとの関連	62

第6章 資料

1 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会での検討経過	64
2 市民アンケート調査結果の概要	66
3 札幌市の火葬場・墓地の変遷	68
4 市営霊園及び旧設墓地の手続き	70
5 用語集	71
6 パブリックコメントの実施結果	73

はじめに

札幌市では、年々少子高齢化が進み、超高齢社会が進展していくことに伴い、令和3年には初めて人口減少に転じ、団塊の世代をはじめとした多くの方々が寿命を迎えられる、「多死社会」に差し掛かっています。

多死社会特有の課題である「火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる」「跡継ぎがないためお墓が放置される」といった問題に対応し、市民のみなさんの不安を解消するため、そして、いつか誰もが関係する火葬やお墓のことを自分事として考えるきっかけにさせていただくため、「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を令和2年3月に策定するとともに、「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を令和4年3月に策定し、各種取組を進めてきました。

このたび、「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」に続く計画として「第2次札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を策定しました。この第2次計画では、引き続き、基本構想で掲げたビジョン(将来の目指す姿)「みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～」の実現に向けて、札幌市の取組を進めていくものとしております。

ビジョンの実現には、市民のみなさんや葬祭事業者をはじめとする事業者の方々のご協力が必要となります。札幌市も広報媒体を活用した情報発信を行うとともに、対話等の機会を通じた情報提供、ニーズの把握を行いながら、課題解決に向け、一緒に取り組みたいと考えています。

みなさんもお墓のことについて調べたり、家族と話し合ったりするなど、今まで以上に自分事として考え、取り組んでみてはいかがでしょうか。

みなさん自身や身近な人のために
まずはできることから始めていきましょう。

令和8年(2026年)3月

札幌市長 秋元克広



